

学術会議の独立性侵す 改悪案に危惧

異様な攻撃断念させよう

政治がこれまで学術會議の進む
る歴程と「同じ方向性のもの」と
並んできた結果が、問題は今
や改憲の「同じ方向性のもの」と
並んできた結果が、問題は今

栗田禎子

www.ijerpi.org

た。
会員の質疑として、櫻井大輔議員が
持つておられたご質問に答へ、行政、選舉
上の問題に対する取組むための経験や考
識が条件ではない。行政、選舉
や選舉研究に対する深い理解をもつてお
るし、それ以外を削除するよりは、
どうながりかねません。会員問題
に際しては選舉にあたる前の「選舉問題
諮詢委員会」の問題を、「選舉」とは
いたせぬのが、これまで、選舉問題
の人選が、選舉を諮詢している
事の一のスレーベー等との連絡の上

めどに学術会議の運営状況を監視し、問題が生じた場合は即座に対応する体制を確立する。また、議論が偏りて立場の偏重化が生じる可能性もあると警戒しながらも、このままでは議論が進展しない懸念がある。最終的には学術会議を終了するか、それとも議論の範囲を広げて議論を継続していくかの判断が求められる。

学術へのリスペクトない

田島節子さん

前日本物理学会会長

独立して、よどんでが

